

## 米国 Android Industries、三井物産の支援受け グローバルな受託組立拡大を目指す

米国小型自動車市場の活況から北米で自動車生産が拡大する中、米系自動車メーカー各社向けにサブアセンブリーを営む米国 Android Industries への注目が高まっている。FOURIN は 2015 年 1 月に、Android Industries の筆頭株主である三井物産の北米自動車担当(在 Detroit)の降矢 博司支店長と、Android Industries の工場運営責任者である Gus Bellomo 氏から、Android 社の事業展開や成長戦略について話を伺った。

Android Industries は 1974 年に機械設備メーカーとして創業し、1988 年にドアモジュールの組立を受託して以降、自動車メーカー向けのサブアセンブリー事業を拡大している。金融危機前後の時期に工場数を減らした米系自動車各社がリーマンショック以後にアウトソースを増やしたことで急成長を遂げた。

Android 社は北米を中心に世界 5 カ国 20 カ所以上で操業し、GM や Chrysler の車両生産をサポートしている。自前の設備を使ったローコストかつフレキシブルなリーン生産から高品質のモジュール部品を供給できるノウハウを蓄積している。タイヤ/ホイール、サスペンションユニット、エンジン、インストルメントパネル、HVAC やヘッドライナーなど、多様なモジュールユニットを手がけており、顧客のニーズに幅広く対応できる。特にタイヤ/ホイールの組立設備は多くの特許技術を獲得しており、顧客の評価が高い。

米国で小型自動車の需要が旺盛な中で、米系自動車各社とも既存工場の稼働率を上げて増産する方針である一方、新工場を設立する考えは無く、生産工程の一部を外注化する流れは今後も続く見通しである。また、コスト削減につながるこうした外部委託が世界各地で広がる可能性が高く、Android は日系など米系以外の自動車メーカーからの受注獲得も目指している。

Android はモジュールユニットに必要な資材・部品の調達及び物流、調達決済の代行、サブアセンブリー後の完成車工場への JIT 納入を含むサプライチェーンマネジメントも担う。同社には 2014 年に三井物産が出資し同社の筆頭株主となっている。三井物産の物流網を活用することでこうしたサプライチェーン関連のサービスをさらに強化できることも、Android が顧客層の多様化、グローバルな事業拡大を目指す上で強みとなる。

### 【Android Industries、事業概要】

#### ▽事業概要

- 自動車メーカー向けモジュール部品サブアセンブリー: タイヤ/ホイール、サスペンションユニット、エンジン、ラジエーター、インストルメントパネル、ヘッドライナー、ドアモジュール、シャシフレーム、他
- 機械設備、治具の開発・生産
- サプライチェーンマネジメント: 資材・部品の調達/物流、調達決済代行、モジュールユニットの JIT 納入

Fort Wayne, テキサス州 Arlington, 他

- カナダ 1: オンタリオ州
- メキシコ 3: Toluca, Cuautitlán, Hermosillo
- ブラジル 1: Gravataí
- スペイン 1: Zaragoza
- Auburn Hills 本社工場で機械設備を開発・生産し各工場へ供給
- ・従業員数: 計 3,000 人

#### ▽沿革

- 機械設備メーカーとして 1974 年に開業
- 1988 年にドアモジュールの供給からサブアセンブリー事業を開始
- 2014 年に三井物産が出資し筆頭株主となる

#### ▽主要顧客

- ・GM, Chrysler, Ford, Volvo, AM General, 他
- 米系以外の自動車メーカーからのサブアセンブリー受託を目指す

#### ▽出資構成

- 三井物産 33.4% (筆頭株主、経営主導)、Renaud Group 30% (2004 年から出資)、Dundee Capital 20%、Android Industries 経営陣 16.6%
- 2014 年に三井物産、Dundee Capital、Android Industries 経営陣らが Wynnchurch Capital が保有する Android 社株式を取得

#### ▽拠点概要

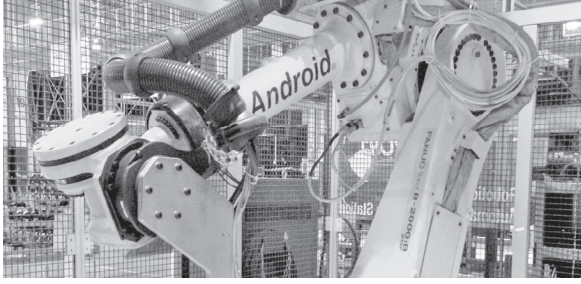
- 世界 5 カ国 20 カ所以上で操業
- 米国 14: ミシガン州 Auburn Hills (本社)、Warren、Detroit、Lansing、Flint、ケンタッキー州 Bowling Green、インディアナ州

#### <米国 MI 州 Warren 工場>



(Android Industries からのヒアリング、各種報道より作成)

## 【Android Industries、サブアセンブリーとサプライチェーンマネジメントで自動車メーカーの操業をサポート】



## ▽ユニークなビジネスモデル

- Android Industries は自動車部品のサブアセンブリーに特化している。顧客である自動車メーカーの生産ラインの流れに沿ってタイヤ/ホイール、サスペンションシステム、エンジンなどのモジュールユニットを組み立てて、自動車メーカーにジャストインタイムで納入する。モジュールユニットの資材や部品の調達及び関連する決済の代行、資材・部品の在庫管理から材料及び完成部品の物流をカバーするサプライチェーンマネジメントも担う、ユニークかつ日本には存在しないビジネスモデル。
- 三井物産は Android Industries が世界で事業を拡大できると判断し、2014 年に Android Industries の株式 33.4%を取得して同社の筆頭株主(キャピタルサポートでファンド 2 社が計 50%出資、Android Industries 創業家が 16.6%保有)となった。

## ▽世界 5 カ国 20 カ所以上で操業

- Android Industries は機械設備メーカーとして 1974 年に操業し、自動車メーカーなどと取引。
- 1988 年にドアモジュールのアセンブリーを受託して以降、自動車メーカー向けのモジュール部品組立事業が拡大。
- 2014 年現在で米国、カナダ、メキシコ、ブラジル、スペインの 5 カ国 20 カ所以上で操業。従業員数は計 3,000 名。2014 年の部品取扱い総額は 93 億ドル。
- 米国ミシガン州 Auburn Hills に本社。本社工場で機械設備を開発・生産し Android Industries の各工場に供給する。
- 2014 年にカナダ Ontario 州で工場を新設。
- 北米での操業が中心だが今後、北米外で拠点が広がる見込み。
- 自動車メーカー工場内のラインの一部の操業を担うケース、自動車メーカー工場のサプライヤーパークに入居するケースもあれば、自動車メーカー工場の近くで自社工場を開業するケースもある。3 つ目のケースでは複数の自動車メーカーから受注できるメリットがある。米ミシガン州 Warren 工場はこのケースに該当し、GM と Chrysler から受注を獲得している。

Mitsui & Co. (USA), Inc.

Motor Vehicles & Transportation Systems Dept.

General Manager & Regional Officer 降矢 博司氏、  
Android Industries

Plant Manager Gus Bellomo 氏からのヒアリングより構成

2015 年 1 月 14 日 Android Industries 米国ミシガン州 Warren 工場にて取材

## ▽タイヤ/ホイール、サスペンションを筆頭に複数種類のモジュールユニットのサブアセンブリーを受託

- 顧客である自動車メーカーの工場ごとのニーズにフレキシブルに対応し、タイヤ/ホイール、サスペンション、エンジン、コックピット、ヘッドライナー、ドアなど複数の種類のモジュールユニットのサブアセンブリーを行う。
- サブアセンブリー規模が最大なのはタイヤ/ホイールで、年間で計 900 万個の組立が可能。
- サスペンションモジュールのアセンブリーはタイヤ/ホイールに次ぐ規模。年間 350 万ユニットを組み立てている。

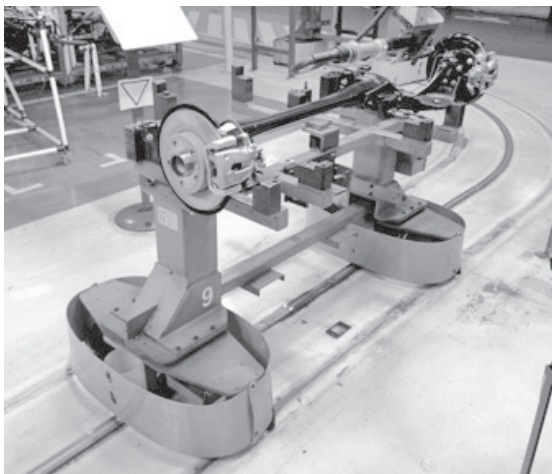
## ▽機械設備は自社製

- タイヤ/ホイールの組立設備は世界 20 カ国で特許を取得。スピーディかつ正確な組立が可能で、優れた品質に対する業界内の評価が高い。
- サスペンション、エンジンなどタイヤ/ホイール以外のモジュールユニットの組立は独自の「Cart & Crown」システムを使って行う。「Cart」は AGV のような装置だが AGV よりも低コストで、タイヤ以外の組立で汎用的に使用される。台座のサイズを自由に変更できる。シャシなど長く大きなものを組み立てる場合は台座がアコーディオンのように伸びる。従業員の頭上からは組み付け作業の工具が伸び、その天井には、組立制御機能が搭載された「Crown」システムが装着されている。各 Crown に、組立部品や品質チェックの内容に関するデータが送られる。顧客の品質要望に



【Android Industries、サブアセンブリーとサプライチェーンマネジメントで自動車メーカーの操業をサポート】(つづき)

関する情報・データが取り込まれ、組立工程を管理する。ソフトウェアも Android Industries が自前でプログラミングを行う。



・カートの増減によりラインを容易に調整できる。生産量・品目をフレキシブルに変更できる。通常、大規模な工場だとレールが打ち込まれラインが作られるが、Android Industries の工場では台座を少しずつ動かしてラインを形成。1日でラインのレイアウトを変更することもできる。ローコスト、フレキシブルな生産システムである。

▽サプライチェーンマネジメント

- ・顧客である自動車メーカーが選定したサプライヤーから資材・部品を調達し、モジュールユニットとして組み立てて、自動車メーカーに納入する。調達の決済を代行。調達のための物流も担う。
- ・顧客が指定した資材・部品を発注し、契約の詳細を代わりに詰める。決済を含む購買を代行し、期日までにモジュールユニットとして納入する。
- ・サプライヤーからの資材・部品の調達と物流を手配し、組み立てたモジュールユニットを JIT で納入するための配送まで担う。調達ではサプライヤーの物流網を使ったコンテナ輸送に加え、ミルクランを行うケースもある。ミルクランは三井物産の物流子会社の Transfreight が協力(カナダ Brampton 工場で試験的に導入)。

▽米ミシガン州 Warren 工場での操業

- ・Warren 工場ではタイヤ/ホイール、サスペンションユニット、エンジンの組立を行う。従業員数は 270 人。午前 5:30 からと午後 4:00 からの計 2 シフトで操業しており、1 日当たり計 950 台分のモジュール部品を組み立てている。
- ・タイヤ/ホイールは Chrysler 200 向けと GM の Chevrolet

Malibu、Impala、Volt 向けで、年間 140 万モジュールの組立が行われている。タイヤ/ホイール組立ラインに関わる固定費を顧客である GM と Chrysler が負担。同一ラインで GM、Chrysler 向け双方のタイヤ/ホイールの組立を行う。

- ・エンジンは Chrysler 向けで、2.40 直 4 エンジンと 3.60 V6 エンジンの組立が行われている。エンジン組立全行程でポカヨケを導入し不良品の納入を防いでいる。
- ・サスペンションユニットは GM と Chrysler 向け。
- ・Chrysler 向けのサプライチェーンマネジメントも担当。

▽GM Detroit Hamtramck 工場生産車種向けに幅広く供給

- ・GM のミシガン州 Detroit Hamtramck 工場で生産される Chevrolet Malibu、Impala、Volt 向けにタイヤ/ホイール、フロント/リアサスペンション、フロントバーティカル、フロントクレードル、フロント/リアコーナー、リアショック、ヘッドライナーなどのモジュールユニットを供給している。
- ・GM からかなりの量・種類のモジュールユニットのサブアセンブリーを受注している。

▽GM Lansing Delta 工場向けコックピット納入

- ・米ミシガン州 Lansing 工場では、1,400 種類の部品から構成されるコックピットシステムを組み立てて、GM に納入。

▽GM のフルサイズ SUV 向け供給

- ・GM のフルサイズ SUV 生産拠点がある米テキサス州 Arlington で操業し、GM 工場向けにタイヤ/ホイール、13 種類のモジュールユニットを供給。
- ・インストルメントパネル、ラジエーター、リアアクスル、HVAC、パワーステアリングポンプ、オーバーヘッドコンソールなど計 13 のモジュールユニットの組立を行う。GM の Arlington 工場の最終組立に必要な部品の 85%が Android Industries から供給されている。

▽GM のブラジル Gravataí 工場サプライヤーパークに入居

- ・プレス部品メーカーの Gestamp とともに、GM のブラジル Rio Grande do Sul 州 Gravataí 工場のサプライヤーパークに入居。サスペンションユニットなどのモジュール部品をジャストインタイムで納入。
- ・三井物産は Gestamp の米州事業に出資している。Gestamp がサスペンションモジュールの部品をプレスし Android Industries に供給。Android Industries がモジュールユニットを組み立てて GM に納入している。
- ・バリューチェーン的により手前の Gestamp が部品を製造し、Android Industries がモジュールユニットの組立を行う。

## 【Android Industries、サブアSEMBリーとサプライチェーンマネージメントで自動車メーカーの操業をサポート】(つづき)

三井物産グループが物流をサポート。GM のサプライチェーンにおいて三井物産がグループ内で分業体制を構築している。

## ▽スペインでは GM の工場内で操業

- ・GM (Opel)のスペイン Zaragoza 工場内で、サスペンションモジュール、ダッシュボードなどの組立ラインの操業を担う。

## ▽北米でのサブアSEMBリー台頭の経緯

- ・米国では、自分たちでやらなくていいことはアウトソースしてもいい、という合理的な考え方がある。
- ・米系自動車メーカー各社ともリーマンショック前後で経営危機に直面した。UAW 加盟従業員の人件費が高騰し自動車メーカー各社の経営を圧迫した。自社の従業員で全ての工程を担うよりも、一定のモジュールを外に出したいという考え方が広まった。ただし自動車メーカーの従業員の仕事を奪った、とはならないよう、Android Industries の従業員も組合に加盟している。
- ・リーマンショック後、米国で自動車工場の閉鎖が相次いだ。米国の景気が回復しても新工場はできていない。各工場とも 8~9 割の稼働率で、キャパシティを増やすにはラインを変えるなどの工夫が必要となる。自動車メーカーにとって大事なラインは残しつつ、アウトソースしても品質的に大丈夫なもの、外注に頼れるものは外に出す傾向が強くなった。Android Industries の成長カーブも 2009 年以降に急激に伸びた。

## ▽アウトソースのメリット

- ・ラインの一部をアウトソースすることで、固定費を変動化させ、コスト削減につなげることも可能となる。
- ・自動車メーカーの既存工場のフレキシビリティを高めることができる。手狭となっている工場でフロアスペースが足りない問題を解消できる。一部ラインの外注化で多品種少量生産を円滑化できる。
- ・自社工場のラインで全てを流すと全ての工程で品質管理をしないとイケない。外注先からモジュールひとかたまりを受け取るだけであればその品質確認と組み付けだけとなり負担が軽減される。ラインの最終組立の効率向上につながる。ラインごとに効率が異なる状態であればその問題を解消できる。
- ・自動車メーカーでもヒト・モノに限りがあり、ノンコアな部分、完成車組立の手前の工程の部分を品質信頼度の高い相手に任せることで、コアである車両開発・最終組立に集中できる。

## ▽Android Industries の強み

- ・自社製の設備でサブアSEMBリーを行う。顧客である自動車メーカーの良いところを吸収しつつ、リーン生産から高品質の製品を提供できるノウハウを独自で蓄積。顧客の品質に対する評価が高い。
- ・技術と人材を重視しつつ、人が入れ替わってもラインを円滑に運営できる、システムを管理できる、自動車メーカーにとって遜色のない品質を維持できることが強み。
- ・特にタイヤ/ホイールのアSEMBリー技術は業界内でベンチマークされるレベルで評価が高い。
- ・独自の Cart & Crown システムで、生産量増減への対応、生産品目の変更がフレキシブルに可能。
- ・サブアSEMBリーに特化しつつ、サプライチェーンマネージメントも担う。三井物産の物流網を活用し顧客に付加価値の高いサービスを提供できる。
- ・設備は自前だが、土地・建物はリースが基本。資産を持たないビジネス形態で、狩猟民族的なビジネスモデル。

## ▽顧客層拡大とグローバル展開強化

- ・経営資源が限られ、グローバル競争が激化する中で、水平分業の重要性、アライアンスの必要性が高まっている。また、Android Industries のサブアSEMBリーが自動車メーカーの多品種少量生産を補完できる。こうした背景の中で、日系や欧州系の自動車メーカー各社にも Android Industries へのアウトソースによるメリットをアピールし、米系自動車各社以外からの受注獲得を目指す。
- ・タイヤ/ホイールの組立には広いスペースが必要で、構造が複雑なサスペンションシステムはモジュールで受け取った方が便利。Android Industries のタイヤ、サスペンションのサブアSEMBリーにおける実績を活かし、取引先の多様化につなげたい。
- ・まずは北米で顧客層を広げ、北米内で足場を固めつつ、欧州、アジアや中南米でのビジネス拡大も目指す。
- ・自動車(小型自動車)向けに加え、トラック、建機向けの取引もある。自動車以外の業界での取引拡大も視野に、サブアSEMBリーの技術に磨きをかけていく。
- ・グローバル競争下で限られた経営資源を有効活用するためには、自動車メーカーは車両の開発と最終組立に特化、サプライヤーは個々の部品の開発と製造に特化、Android Industries がモジュールユニットの組立に特化してさらに物流を支援できれば理想的。

(FOURIN)

## ◇北米を中心に中南米、欧州やアジアでの事業拡大も視野

Android Industries は米国、カナダ、メキシコ、ブラジル、スペインの計5ヵ国20ヵ所以上で操業。顧客である自動車メーカーの工場のサプライヤーパークに入居してモジュール部品を納めるケース、自動車メーカー工場内でラインの一部の操業を直接担当するケースに加え、自動車メーカーの工場が密集する地域で自社の拠点を構えるケースがある。ブラジル南部ではGMのGravataí工場のサプライヤーパークに入居、スペインではGMのZaragoza工場内で操業。FOURINが取材で訪れた米ミシガン州Warren工場は3つ目のケースに該当し、隣接するGMとChryslerの両社から受注を獲得している。

降矢氏は、グローバルな競争が激化する中で、水平分業の重要性、アライアンスの必要性が高まっていると指摘。日系自動車メーカーのAndroidのビジネスに対す

る関心は高く、新規受注の獲得が期待できる。また多品種少量生産において全ての工程を自前で担う負担は重く、一部工程を外注化することで生産効率が高まる。消費者ニーズの多様化が進む市場が世界各国で増えており、多品種少量生産の傾向が新興国でも強まりつつあるため、Androidのビジネスチャンスは大きい。

Android社はまず北米で事業基盤を固めつつ、北米に加え中南米、欧州やアジアでの事業拡大を目指している。多種多様なモジュールユニットの組立によるノウハウ蓄積から、完成車の生産も可能であるが、サブアセンブリーの技術にさらに磨きをかけ、顧客層を広げグローバルな事業展開強化につなげたい考えである。また、自動車(小型自動車)に加え、トラックや建機向けの部品も既に納入しているが、自動車以外の業界での取引拡大も視野に入れている。

【Android Industries、拠点別事業概要・動向一覧】

国	工場	生産品目や事業動向	納入先
米国	MI州 Auburn Hills (本社)	・機械設備の開発・生産 ・本社業務	Android Industries 各工場へ機械設備を搬入
	MI州 Warren	・タイヤ/ホイール組立(GM、Chrysler 向け) ・エンジン組立(Chrysler 向け) ・サスペンションユニット組立(GM、Chrysler 向け) ・サプライチェーンマネジメント(Chrysler 向け) ・従業員 270 人	GM Detroit Hamtramck 工場 Chrysler Sterling Heights 工場
	MI州 Detroit	・サスペンション、フロントパーティカル、ブレーキコーナー、ヘッドライナーなどを組立 ・マイノリティや貧困層の就業を支援するNPOのFocus: HOPEの敷地内で操業 ・GMの新プラットフォーム2種類向けの納入にむけ、1,650万ドルを投資、131人を増員して事業を拡大する計画(2015年1月発表)	GM Detroit Hamtramck 工場
	MI州 Lansing	・コックピットモジュール、インストルメントパネル、コンソール組立	GM Lansing Delta 工場
	MI州 Flint	・福祉車両、建機向けシャシアセンプリー ・溶接、溶接、コーティング	AM General、他
	KY州 Bowling Green	・タイヤ/ホイール組立	GM Bowling Green 工場
	IN州 Fort Wayne	・タイヤ/ホイール組立 ・用地・建物リースやリノベーションに約900万ドルを投資し、2012年に開業、従業員数66人(開業時計画)	GM Fort Wayne 工場
	TX州 Arlington	・タイヤ/ホイール組立 ・インストルメントパネル、ラジエーター、HVAC、リアアクスル、パワーステアリングポンプ、ヘッドライナーなどを組立 ・サプライチェーンマネジメント	GM Arlington 工場
カナダ	ON州 Brampton	・サプライチェーンマネジメント: 資材・部品の調達において、三井物産子会社のTransfreightがミルクラン輸送で協力	Chrysler Brampton 工場
メキシコ	Mexico州 Toluca	・タイヤ/ホイール組立 ・ChryslerのToluca工場サプライヤーパークに入居	Chrysler Toluca 工場
	Sonora州 Hermosillo	・タイヤ/ホイール組立 ・FordのHermosillo工場サプライヤーパークに入居 ・2012年1月にリース契約延長	Ford Hermosillo 工場
ブラジル	Rio Grande do Sul州 Gravataí	・フロント/リアパーティカル、フロント/リアサスペンション、ハブ&ナックルの組立 ・GMのGravataí工場サプライヤーパークに入居 ・Gestampがサスペンション部品を製造し、Androidがサスペンションモジュールを組み立ててGMに供給	GM Gravataí 工場
スペイン	Aragon州 Zaragoza	・リアアクスル、フロントパーティカル、エンジンクレードル、インストルメントパネル、ドアモジュール組立 ・GMのZaragoza工場内で操業 ・2009年4月にサスペンションモジュール納入開始、2011年1月にドアモジュールとインストルメントパネルの組立開始、2013年に組立受託契約を2016年まで延長(1年延長オプション付帯)	Opel Zaragoza 工場

注)世界5ヵ国20ヵ所以上で操業しており、上記以外にも工場がある。

(Android Industriesからのヒアリング、各種報道より作成)

◇三井物産の支援でビジネスチャンスが拡大

Android Industries の出資構成は 33.4%の三井物産が筆頭株主であり、Android 社経営陣が 16.6%の株式を保有し、キャピタルサポートしてファンド 2 社が計 50%出資している。モノを動かすことを生業とする商社である三井物産のバックアップを得たことで、より付加価値の高いサービスの提供が可能となり、サブアセンブリーに加えサプライチェーンマネジメントを手がける Android のアドバンテージがさらに高まることとなる。

Androidは自前で物流を手がけているが、三井物産のネットワークを活用することで、ロジスティクスサービスを強化することができる。カナダ Brampton 工場では資材・部品の調達に三井物産の物流子会社 Transfreight のミルクラン配送を試験的に採用し、顧客である Chrysler からの評判が良い。

三井物産はプレス部品大手の Gestamp の米州事業にも出資している。Android Industries は Gestamp とともに GM のブラジル Gravataí 工場のサプライヤーパークに入居している。Gestamp がサスペンションの部品をプレスして Android に送り、Android がサスペンションモジュールユニットを組み立てて GM の現地工場に供給している。自動車産業のバリューチェーンにおいて幅広く事業展開している三井物産の支援を受けることで、ビジネスチャンスがさらに広がる。

グローバル競争下で、自動車メーカー、サプライヤーとも限られた経営資源の有効活用が重要となる。Android のサブアセンブリー、サプライチェーンマネジメントに頼れば、自動車メーカーは車両開発と最終組立に特化し、サプライヤーが部品の開発・製造に集中することができる。

(安田)

【三井物産の自動車関連事業】(参考)

- 三井物産の機械・輸送システム本部が自動車、建機、船舶、航空機や鉄道分野で幅広く事業を展開。
  - 自動車や二輪車、部品の物流、生産、卸売、販売、ファイナンスの各事業に携わる。
  - 自動車分野では車両、部品の輸出入に加え、各地域で物流、生産、卸売、販売、ファイナンスに至る川上から川下までのバリューチェーンを構築。こうした事業基盤を活かし、単独または戦略的パートナーと事業経営に参画し、安定収益の確保・人材のグローバル化に加え、新規事業プラットフォーム構築を目指している。
- このほか、鉄鋼製品本部が自動車用鋼材の製造・加工・物流を手がける。

▽北米事業動向

- 2014 年、米系自動車メーカー各社からモジュール部品の組立を委託している Android Industries に出資。株式 33.4%を取得し同社の筆頭株主となった。
- 2013 年 1 月、スペイン自動車プレス部品大手 Gestamp Automoción の米州事業会社群に最大 30%出資参画することで合意。
  - Gestamp 米州事業会社群の第三者割当増資を受け 15%の株式を取得し、普通株式転換権付融資を実行して最大 30%株式を総額 300 万ユーロで取得。
  - 三井物産の鉄鋼製品本部が出資。
  - Gestamp は米国、メキシコ、ブラジル、アルゼンチンで計 15 工場を保有。ブラジルでは GM の Gravataí 工場のサプライヤーパークに入居し Android Industries と協業。
- 自動車生産工場向けロジスティクス業務を営む米国の物流会社 Transfreight を 2003 年に完全子会社化。

▽北米外事業動向

- ロシア自動車大手 Sollers との折半出資合弁会社の OOO Sollers-Bussan が極東 Vladivostok で 2013 年 2 月に Toyota Land Cruiser Prado の組立生産を開始した。
  - 開業時 1,000 台/月の生産を計画した。2014 年実績は 7,780 台。
  - Vladivostok で生産された Land Cruiser Prado は主にシベリア鉄道で輸送され、ロシア市場に供給される。
- 2014 年 5 月、タイ大手財閥 Siam Cement Group の 100%子会社 SCG Trading と共同で、ミャンマーで自動車アフターサービス事業を行うと発表。両社が設立した投資会社 SCGT Automobile(三井物産 33%出資)とミャンマー Oriental Apex Car Sales & Services の合弁会社 Mingalar Motor(SCGT Auto 75%出資)が事業を展開する。

<機械・輸送システム本部の主な自動車関連会社>

★連結子会社 ☆持分法関連会社

所在	会社名	事業内容
米国	★Transfreight	自動車生産工場向けロジスティクス業務(輸送、倉庫等の企画・運営)
米国 英国 豪州	☆Penske Automotive Group	自動車小売業・ 総合輸送業
カナダ	☆Toyota Canada	自動車及び部品の輸入・ 販売
ブラジル	★Veloce Logistica	自動車生産工場向けロジスティクス業務(輸送、倉庫等の企画・運営)
チリ	★Toyota Chile	自動車及び部品の輸入・ 販売
日本	★カーシェアリング・ジャパン	会員制カーシェアリング サービス
	★三井物産オートモーティブ	完成車、部品、生産設備 の輸出入および車両ネット オークション
	★三井物産マシンテック	金属工作機械、金属加工 機械及びプラスチック射出 成形機の販売
タイ	★Mitsui Bussan Automotive (Thailand)	自動車・トラック・ バスの販売
インドネシア	★P.T. Bussan Auto Finance	二輪車販売金融
	☆P.T. Yamaha Indonesia Motor Manufacturing	二輪車の製造・販売

注)機械・輸送システム本部以外の事業部門管轄の自動車関連会社は含まない。  
(三井物産広報資料、各種報道より作成)